

基本目標 II 感動と活力に満ちた競技スポーツの推進**推進項目**

- (1) トップアスリートの育成・強化の推進
- (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実
- (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出

事業の進捗状況

- ・ 4月に山形県縦断駅伝が開催され、酒田飽海チームは1日目4位、2日目3位に順を上げたが、最終結果は総合5位の順位となった。
- ・ 各種競技大会の開催状況はコロナ以前に戻っている。特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」が10月7日に開幕し、各種競技が実施された。大会に出場する本市在住等の選手達40名に激励金を贈呈した(特別全国障害者スポーツ大会の出場者2名含む)。
- ・ スポーツ振興激励金の交付状況については、9月末時点で全国・東北大会出場者(197名)に計1,003千円の激励金を交付している。
- ・ 9月上旬に本市と庄内町を会場として「第20回ジョイフル・スローピッチ・ソフトボール全国大会」が開催された。男子の部に台湾チームを含む17チーム、女子の部に12チーム、混合の部に5チームの計34チームが参加した(大会補助金として300千円交付)。
- ・ 今シーズンよりV1リーグに昇格したアランマーレ山形の開幕戦が、10月28日に石川県輪島市の体育館を会場に開催された。それに伴い、酒田駅前交流拠点施設ミライニにて市民を対象にパブリックビューイングを実施した。また、11月11日に鶴岡市小真木原総合体育館で開催されるホームゲーム初戦も、ミライニにてパブリックビューイングを実施する予定である。「プレステージ・インターナショナルアランマーレ」の支援として、引き続き試合情報や大会結果等の情報発信を行っていく。
- ・ 白崎資金スポーツ優秀選手表彰は、酒田駐車ビルの経営が厳しい状態になり、白崎資金の名前を掲げた事業実施が困難となったことから、白崎資金を活用した表彰事業は令和4年度で終了している。令和5年度は、従前の市スポーツ協会表彰に加え、市スポーツ少年団本部独自の表彰を実施する予定である。

現状評価

- ・ 「トップアスリートの育成・強化の推進」として、選手のモチベーションを高めるために激励金等の交付、市スポーツ協会への支援を継続していくことが有効と考えられる。
- ・ 各競技団体等に対して全国大会等の大会誘致を働き掛けることは、市民の「みる」スポーツへの興味・関心を高めることにつながるものとする。

令和 6 年度の予算要求に向けて

- ・ 市スポーツ協会と連携し、小中高生から一般までの一貫した指導体制の確立や指導者の資質向上、市民のスポーツへの関心を高め、医科学的な視点も踏まえながら、指導者のレベ

ルアップを図る。指導者講習会については全体の競技で共有することができる内容を検討し、選手育成・強化並びに競技力向上につなげていく。

- ・選手たちのモチベーションを高めるためにも、継続して全国大会等上位大会へ出場する選手へ激励金等を交付する。
- ・山形県縦断駅伝競走大会や山形県女子駅伝競走大会に酒田飽海チームの一員として参加する選手・スタッフを競技力向上の面からサポートしていく。
- ・トップレベルのスポーツに触れる機会を多く創出し、スポーツへの興味と関心を高める。
- ・アランマーレ山形の試合状況について、今年度同様にミライニ等で市民を対象にパブリックビューイングを実施していく。

数値目標

KPI		指標値 (R6)	現状値	現状値 (R4)
	国民体育大会への出場種目数	20種目以上 (R11 20種目以上)	H30 19種目	15種目

関連事業 (令和 5 年度)

No.	事業名	活動・手段指標	目標等	予算額
1	トップアスリート育成支援事業	スポーツ協会事業の実施 国民体育大会への出場種目数	年度内事業実施 20 種目以上	15,245 千円
(事業概要) ○酒田市スポーツ協会事業補助金 (主な事業) <ul style="list-style-type: none"> ・選手強化事業 (加盟競技団体へ強化費の交付) ・指導者養成事業 (競技スポーツ指導者養成研修) ・市民スポーツ振興事業 (スポーツ教室、総合型地域スポーツクラブ) ・広報誌発行 (年 2 回 各回 4,400 部) ・顕彰事業 (功労指導者、優秀選手等の表彰) ○各種競技大会 <ul style="list-style-type: none"> ・山形県縦断駅伝競走大会 ・山形県女子駅伝競走大会 ・全庄内スキー選手権大会 ・ジョイフル・スローピッチ・ソフトボール全国大会 				